



伊勢別街道の基点

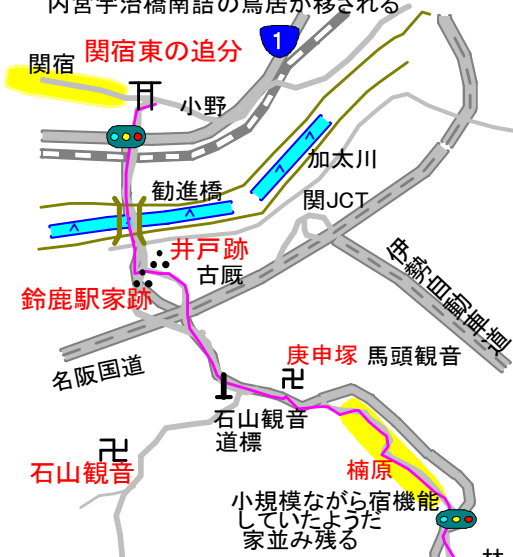
伊勢神宮第一の鳥居、道標、常夜燈が残る。鳥居は式年遷宮の時に内宮宇治橋南詰の鳥居が移される



第一の鳥居



追分から宿内街並



鈴鹿駅家跡、お厩の松

大化の改新(645)の後、駅制が布かれこの地に鈴鹿駅家がおかれたという。第11代垂仁天皇の皇女倭姫が天照大神の御杖代として巡幸のおり、この地で神馬の蹄を休められ、馬を洗ったという。式内社大井神社跡碑、近くの森の中に馬を洗った”包み井”井戸のこる。ここに”お厩の松”といわれる巨松があった。県天然記念物に指定されたが松喰い虫に遭い昭和58年伐採。樹齢470年が確認された。松の幹が保存されている。この地区”古厩”(ふるまや)という。



石山観音

磨崖仏で知られる。山全体が石でできており、巨岩に40体余りの仏像が彫られている。阿弥陀如来立像ほか2体の県文化財もある。多くの仏像は鎌倉時代から江戸初期に彫られたもの。14世紀ごろには寺があったが江戸初期に楠原に移る。(現定浄蓮寺)



芸濃町資料館

石灯籠
笠石に「右さんぐう」

横山池と駒越翁

駒越五良八が2万両を投じ文久2年(1862)起工、慶応2年(1866)完成。付近200町歩灌漑。翁の遺徳を偲ぶ顕彰碑。

旅館角屋

江戸時代から続く宿屋。坪数250坪、部屋数24部屋。軒に講札残る。



磨崖仏(県文化財)
地藏菩薩立像
高さ3.24m

樹齢1500年高さ18m幹周り8m
嵯峨天皇(809-22)の頃坂上田村麻呂家臣野添大膳親子が逃れてこの地に来て、棕木の近くに住んだという。



むくもと 棕本宿

街道沿いの家並みは元亀年間(1570-73)頃近くから移り住んで形成されたという。江戸時代に宿場、近郊集落の中心として発展。幕末ごろには今も残る旅館角屋をはじめ20数軒あったという。



棕本街並

とゆけの 豊久野

雄略天皇のとき丹波国より豊受大神を伊勢に遷した、そのおり、鈴鹿の神戸からこの地に行宮を営まれたという。その昔広大な原野街道は松並木で昼でも薄暗かったという終戦末期昭和20年には高野尾海軍飛行場がおかれた。今は植木畑が広がっている。

